

令和8年度 町田市立鶴川中学校

年間指導計画及び観点別評価規準

第 2 年 教科： 国語 教科書： 光村図書 週時数： 4 担当者： 小林 優利子

学期	月	単元・章	時数	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	見えないだけ	1	詩の中に出てくる好きな言葉や表現を、理由と共にまとめている。		進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
		アイズプラネット	5	登場人物どうしの関係や人物像を図式化して整理している。	ぐうちゃんの人物像や、登場人物同士の関係を読み取り、図にまとめている。	登場人物の設定の仕方などを積極的に捉え、考えたことを伝え合おうとしている。
		文法への扉1	2	どんな品詞があるかを知り、その役割について理解を深めている。		積極的に自立語について理解を深めようとしている。
	5	魅力的な提案をしよう	5	相手が自ら行動したいと思えるような言葉や表現を用いること意識している。	重要なことが効果的に伝わるように話の構成を工夫している。	自分の考えがわかりやすく伝わるように工夫し、プレゼンテーションを試みている。
		枕草子	3	現代語訳や語注を手がかりに、作者のものの見方や考え方を捉えている。	作者の考えと自分の考えとを比較し、感じたことをまとめている。	理解や思考したことを知識や経験と結び付け、文章を書こうとしている。
		クマゼミの増加の原因を探る	4	文章を構成する六つの部分の関係を図式化して整理している。	筆者の主張を捉え、それと仮説1~3との関係を理解している。	文章と図表を結び付けて内容を解釈し、考えたことを話し合おうとしている。
	6	情報を整理して伝えよう	5	集めた情報を表や図にまとめ、整理している。	適した方法で情報を収集し、分類・整理して自分の目的に合うものを選んでいる。	多様な方法で集めた情報を整理し、見通しをもってまとめようとしている。
		短歌に親しむ・短歌を味わう	5	情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。	学習した短歌の形式や表現の工夫を参考に短歌を創作しようとしている。	表現の効果について考え、短歌を創作しようとしている。
		言葉の力・語彙を豊かに	4	類義語と対義語の比較を通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	言葉に対する筆者の考え方について自分の考えをもち、話し合っている。	文章を知識や経験を結び付けて読み、考えたことを伝え合おうとしている。
7	メディアの特徴を生かして情報を集めよう	2	メディアの特徴を、図や表などにまとめている。	メディアの特徴を踏まえ、情報の信頼性を判断するために必要なことをまとめている。	複数の情報を整理し、目的や状況に応じた収集のしかたについてまとめようとしている。	
	読書を楽しむ・翻訳作品を読み比べよう	3	本の魅力を感じ、今後どんな本を読んでみたいかを考えている。	二つの翻訳を比較し、表現の違いによる作品の印象の違いについて考えている。	本や文章が様々な立場や考え方で書かれていることを理解し、本の魅力や感想を共有しようとしている。	
2	9	ヒューマノイド	4	登場人物の言動や伏線に着目し、話の展開にどのように関わっているのかを考えている。	過去と現在、伏線と結末を結び付けて、登場人物の言動の意味を解釈している。	登場人物の言動の意味について考え、作品の印象を伝え合おうとしている。
		字のない葉書	3	随筆の味わい方について考え、日常の読書に生かせそうな点をまとめている。	前半と後半の人物や心情の描かれ方を比較し、表現の効果について考えている。	文章の構成や表現の効果について考え、伝え合おうとしている。
		表現を工夫して書こう・表現の効果を考える	4	相手や目的に応じて、敬語を適切に使って書いている。	自分の考えが伝わるように、具体的な説明の加え、表現の工夫をしている。	考えが伝わる文章になるように工夫し、手紙や電子メールを書こうとしている。
	10	モアイは語る	5	根拠がどのように意見を支えているかを捉え、適切な根拠の在り方を理解している。	文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論理の展開を吟味している。	論理展開について吟味し、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。
		適切な根拠を選んで書こう	5	自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。	根拠となる事実と、「理由づけ」を示し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	粘り強く根拠の適切さを考え、意見文を書こうとしている。
		扇的「平家物語」から	4	登場人物の言動や反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。	一与や義経の言動の意味について考え、作品を読み深めている。	登場人物の言動について考え、考えたことを伝え合おうとしている。
	11	仁和寺にある法師「徒然草」から	3	文章に表れた作者のものの見方、考え方を理解している。	人物像が明確に伝わるように、文章の構成を工夫し、登場人物について論じている。	登場人物について論じる文章を書こうとしている。
		漢詩の風景	3	詩の作者の思いを想像し、古人のものの見方、考え方について考えを深めている。	気に入った表現や句を引用しながら、構成や表現の効果を生かしている。	漢詩の構成や表現の効果を考え、朗読しようとしている。
		君は「最後の晩餐」を知っているか	5	二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を整理している。	文章を比較して構成や特徴について発見したことを話し合っている。	明確な観点で文章を比較し、考えたことをまとめようとしている。
	12	文法への扉2	2	用言の活用形と活用の種類について、語例を基に理解している。		今までの学習を生かして、単語の活用について理解しようとしている。
		立場を尊重して話し合おう	4	適切な根拠となる情報を集め、意見と根拠、理由づけを整理している。	互いの意見や論点を踏まえて質問や反論し、振り返りで自分の考えをまとめている。	進んで互いの立場や考えを尊重し、討論しようとしている。
	3	1	走れメロス	8	漢語を和語に置き換えると、印象がどのように変わるかを考えている。	人物の言動に着目して、考え方や心情の変化を読み取っている。
文法への扉3			2	付属語の働きや種類について理解し、意味・用法を判別している。		付属語の働きについて理解しようとしている。
2		描写を工夫して書こう	5	これまでに読んだ本の表現を参考にして様子や心情を表す語句を使って書いている。	書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。	粘り強く描写を工夫し、物語を創作しようとしている。
3		国語の学びを振り返ろう	4	これまでの学習活動における具体的な変化を抽象化してまとめている。	互いの考えを尊重しながら対話し、自分の意見を整理したり、価値づけたりしてまとめている。	国語を学ぶ意義を考え、今までの学習を生かしてまとめてクラスで交流しようとしている。
年間	漢字・言葉・書写	20	漢字や言葉について、文や文章の中で使い慣れている。文の構成や展開について理解を深めている。	点画の連続と形の変化を理解して丁寧に字を書いている。場面に応じた文字や書き方を工夫している。	積極的に感じや言葉を読んだり書いたりしようとしている。進んで練習問題に取り組もうとしている。	
<b>評定 [300(3観点の合計)÷3=100]</b>				<b>知 (100%)</b>	<b>思 (100%)</b>	<b>主 (100%)</b>
<b>評価方法</b>				<b>定期考査 (70%程度)</b>	<b>定期考査 (50%程度)</b>	<b>授業内の活動 (100%)</b> ・振り返りシート ・ワーク ・授業ワークシート
				<b>授業内の活動 (30%程度)</b> ・授業ノート・ワークシート・小テスト ・モジュール	<b>授業内の活動 (50%程度)</b> ・スピーチ・発表・作文・授業ワークシート	